

2020年 7月 5号 関電疑惑を許さない! いのちを護る教育を! 平和憲法を護る!



## 岐阜市行一大卒初任給188,700円

年給料2,265千円 採用試験面接は行政部長

**人生のヒント?** メディコス館長(部長級)

年収10,364千円の面接者は非公開

岐阜新聞(7月26日)は「メディコス5周年発信」と題して、大写真付きの記念記事を掲載。記事内で吉成信夫メディコス総合プロデューサー(63)の「本棚が並び書斎と、人と対話するサロンの要素を持つ施設。生活をこれからどのように切り開くのか、人生のヒントを得られる場にしていきたい」と話した。とコメントを掲載。

館長は不合格、プロデューサーは合格。館長面接は氏名を非公開の3人の外部委員だけで行ない、二人の内部委員は不参加。「選考が終わったから外部委員名を教えてください」と問うても「非公開です」。試験が終了し「採用に影響しない」状態なのに「誰が判断(不合格を)したのか」明らかにならない。

人事にお聞きしたら岐阜市の大卒初任給は月188,700円 年給与は2,265千円。先週採用試験が行われたと思いますが、面接には行政部長、人課長も参加し厳格に、人事部門の責任を持って行われていると思います。合格者が出なかったが、「年収1000万円を超える部長級公務員の面接試験」を氏名非公開の外部委員3人に丸投げした姿勢には市民の理解は困難と思える。この「怪」を如何解くか? 「勝負は下駄を履くまで判らない」が、・・・人生のヒント・・・?

### 「郵便物の処理において適正な取扱いを怠る行為を行っていたことが判明」?

先日2017年の市政報告を「配達せずに持っていた局員がいて、発見されました。」と届けられました。配達先は転居していて事件が発生したのは横浜市の郵便局とのこと。

標題は、あて先「お客さま各位」の文書の一部。発文は、横浜市〇〇郵便局長名。

文末は、「お客様の大切な郵便物を確実にお届けすることに万全を期し、信頼の確保に努めてまいりますので、何卒ご容赦賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 敬具」とはありますが、標題の文書は「処理において不適正な行為が判明」と、「不適正」とすっきりと書けないところに事件の一因を感じました。

「どうでしょう」と3年前の市政報告を持ってこられても、・・・と。

記事は「公務出張航空券利用して細江氏個人マイレージカードへのマイル蓄積」等。

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

「お経は、どうしましょう？」住職に聞かれた。「はい、短めで御願います。」と答え、「膝が痛くなりまして、ご無礼します。」と、胡坐をかいた。正信偈がはじまった。

四人目の葬式を出して、七年になる。四人目は、兄である。私より九歳年上であった。私が中学の頃から、うつ病を患い、六十歳を超えるまで入院生活。母の壮年期から老後は、兄の看病と面会に費やされた。兄は、母の死を追うよう逝った。

その母は三人目の葬式になるが、兄の死の一年前に亡くなった。

母は、特別養護老人ホームに十四年居た。九十九歳だった。認知症になり、夜昼逆転、風呂の空焚きが始まり、自分の家だけの事ですまされず、御願いした。

この母の世話をしたのは、妻。母の葬式の三箇月前に亡くなった。二人目の葬式である。妻は十四年、母の居る特別養護老人ホームに通い続けてくれた。妻の病は肺がんで、十九年間の闘病。闘病生活と家族の面倒は、妻の寿命を短くした。娘は「お母さんは、残るお父さんを心配して、おばあちゃんを迎えに来たんやわ。」と、死んでなお、夫の面倒を見てくれているか。

一人目は、父である。もう、二十五年前になる。さっぱりとした江戸っ子で、心筋梗塞で一晩に逝ってしまった。救急車が来たが、病院では死亡を確認しただけ。八十三歳だった。東京四谷の生まれで、少し早ければ明治生まれだった。

満州で捕虜になり、バイカル湖近くで抑留され、昭和二十年には帰れなかった。帰国して、どんな縁か、子連れの母と結婚して、私が生まれた。結婚のいきさつは聞いていない。戦後の話も、戦争の話も多く語らず、父は死んだ。

母の死から三年後、戦後七十年以上も過ぎて厚生省から通知が来た。母の先夫が、戦争で抑留され死亡した捕虜収容所と墓地が判明したとの知らせだった。抑留されたのはバイカル湖近くで、父と同じと思われた。父と母の先夫は知り合いだったかも知れない。

「金のないのは、首のないより劣る」と苦勞した母は、父親の違う兄を溺愛した。その溺愛が兄の社会参加を妨げた。うつ病が重篤となり長期入院。兄への心配で母は死ねなかつた。母の死後、体調を崩した兄に「よく頑張ったね。もう良いよ。」と告げると、そのまま眠った。

「ごうぞ」

盆が回され、焼香と短めの正信偈も終わった。